

保護者等からの児童発達支援評価表の集計結果(公表)

公表日:令和3年2月1日

集計日:令和2年11月4日

事業所名:白井市こども発達センター 保護者数(児童数) 116名 回収数 57 割合49.1 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	53	3	0	1		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	41	9	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の回数を増やして欲しい。 ・月1回の計12回は指導して欲しい(以前のよう)。 ・もっと多ければ先生の負担が減り利用も増やせるのか? ・グループは職員さんの数が多く、満足しているが、個別をもう少し回数ができるくらい職員さんがいたらと思う。 ・先生が変わりすぎです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員数に応じて職員の配置を行っているところですが、会計年度任用制度により雇用条件が変更になったことで、職員数が減少している状況です。(現在、求人募集中です)
	③ 生活環境は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	47	7	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレにベットがあると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベット設置に関して、環境上難しい状況です。オムツ交換用のベビーシートは2か所(幼児用トイレ内)あります。また、乳児を運んだ保護者が多目的トイレを使用される際は、職員が対応いたしますので、お声がけください。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	48	5	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ほこりや髪の毛が落ちてることが多々ある。 ・トイレがスリッパなし(上履きもなし)で靴下で入ることに違和感がある。便器の外に尿をこぼすこともあると思うので。 ・良いと思いますが、改善の余地はありそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレはスリッパを設置しました。子ども用トイレについては安全面の点から現在の環境とさせて頂きます。 他、衛生面も含めて環境改善に努めていきます。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*1が作成されている	51	3	1	3		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	44	4	0	7		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	49	7	0	1		
	⑧ 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	43	4	0	7		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22	10	4	17	<ul style="list-style-type: none"> ・センターと幼稚園への情報交換は少ない。親が介入しないといけない。 ・直接、園の先生とお話ししてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭からの要望など必要に応じて、幼稚園等との連携を行っています。ご希望される方は担当までご相談ください。
保護者	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	53	1	3	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	50	4	0	2		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*3等)が行われているか	30	15	0	11	<ul style="list-style-type: none"> ・質問をすれば、対処方法を教えてくれるが、現状把握のみにおさまっている部分がある。 ・母親は参加しやすいが、どうしても平日仕事の夫との温度差はあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの現状を把握しながら、必要なことなど、今後を見通した関わりをお伝えできるよう努めていきます。

への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47	8	1	0	・グループでは先生方と話す機会が少ない。 ・職員によってばらつきがある	・例年、年2回グループ懇談会や個人面談を行っていますが、今年度はコロナの関係で減っています。来年度は状況を見て通常通りに行う予定です。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43	10	3	0	グループでは先生方と話す機会が少ない。 ・もう少し相談したいことがあるのですが・・・	・今年度から相談カードを用意しました。直接相談出来ない場合は、ご活用くださると助かります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	34	8	1	14	・参加していないため ・今年は仕方ない、11月にあり助かります	・今後も保護者懇談会は出来る範囲で開催していきたいと思います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	44	8	0	4		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	47	7	1	3		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	37	7	1	13		
非常時の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	50	0	2	7		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	30	5	2	19		
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	5	3	20		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	49	4	1	3		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	46	7	0	3	・支援内容には満足していますが、②のように回数を増やして欲しい。 ・定員数に応じて職員の配置を行っていますが、会計年度任用制度により雇用条件が変更になったことで、職員数が減少している状況です。回数が少ない中でも、充実した支援を提供できるよう努めています。	

*1児童発達支援計画とは・・・児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
*2活動プログラムとは・・・事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。
*3ペアレント・トレーニングとは・・・保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。

※数値については、空欄等により合計数が合わないことがあります。